

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	環境園芸学科			
科目名称	生徒指導・進路指導						授業形態	授業形態	講義		
科目コード	411100	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブラーニング	○		○
担当教員名	加藤 研悟								ICT活用		
授業概要	<p>宮崎県の農業高校に勤務し、教科指導はもちろん、担任、学科主任、農務主任、舎監長等を務めてきたが、その中で最も苦労したことは生徒指導であったと考えている。しかし、苦労は多かったが、喜びは苦労の何倍も多かったとも思っている。「生徒指導」を消極的な面にだけ目を向けて指導した場合には楽しさはなかったが、しかし、自立に向けて積極的に指導したことが自己実現につながった場合は、教師しか味合うことができない嬉しさがあったと考えている。「生徒指導」は、全ての生徒のそれぞれの人格のよりよき発達を目指すとともに、学校生活が全ての生徒にとって有意義で興味深く、充実したものになるようにすることを目指すものであり、単なる生徒の問題行動への対応という消極的な面だけにとどまるものでないことを認識させ、理解させる。</p> <p>「進路指導」では、生徒が、生き方の関心、能力・適正の発見と開発、進路の計画や選択、卒業後の生活への適応、さらには自己実現できるように学び続けることを、教師が計画的、組織的、継続的に援助する教育活動であることを理解させる。</p>										
関連する科目	<p>本科目を受講する前に、「教職概論」を十分に理解し、さらに「青年心理と教育相談」を履修することで、児童・生徒にしっかりと向き合えることができる教師像をつくり上げる。</p>										
授業の方法と進め方	<p>毎回の授業にて、アクティブラーニング型授業を展開します。授業の3/4は教科書と自作プリントを中心とした授業で、【知識・理解の獲得】を目指します。1/4は自らの考え方をレポート等にて表現させ、【汎用的技能の育成】を目指します。</p>										
授業計画【第1回】	<p>第1部 生徒指導の基本的な進め方 第1章 生徒指導の基礎 1・1 生徒指導の意義 1・1・1 生徒指導の定義と目的</p>										
授業計画【第2回】	<p>1・1・2 生徒指導の実践上の視点 1・1・3 生徒指導の関連性</p>										
授業計画【第3回】	<p>1・2 生徒指導の構造 1・2・1 2軸3類4層構造</p>										
授業計画【第4回】	<p>1・2・2 発達支持的生徒指導 1・2・3 課題予防的生徒指導：課題未然防止教育 1・2・4 課題予防的生徒指導：課題早期発見対応 1・2・5 困難課題対応的生徒指導</p>										
授業計画【第5回】	<p>1・3 生徒指導の方法 1・3・1 児童生徒理解 1・3・2 集団指導と個別指導</p>										
授業計画【第6回】	<p>1・3・3 ガイダンスとカウンセリング 1・3・4 チーム支援による組織的対応</p>										
授業計画【第7回】	<p>1・4 生徒指導の基盤 1・4・1 教職員集団の同僚性 1・4・2 生徒指導マネジメント</p>										
授業計画【第8回】	<p>1・4・3 家庭や地域の参画 1・5 生徒指導の取組上の留意点 1・5・1 児童生徒の権利の理解</p>										
授業計画【第9回】	<p>1・5・2 ICTの活用 1・5・3 幼児教育との接続 1・5・4 社会的自立に向けた取組</p>										
授業計画【第10回】	<p>第2章 生徒指導と教育課程 2・1 児童生徒の発達を支える教育課程 2・1・1 学習指導要領「総則」と生徒指導 2・1・2 学習指導と生徒指導</p>										
授業計画【第11回】	<p>2・1・3 学級・ホームルーム経営と生徒指導 2・1・4 教育課程編成上の留意点</p>										

授業計画 【第12回】	2・2 教科の指導と生徒指導 2・2・1 個に応じた指導の充実 2・2・2 児童生徒理解を基盤とした教科の指導 2・2・3 教科の指導と生徒指導の一体化
授業計画 【第13回】	第2部 キャリア教育(進路指導) 第1章 職業指導・進路指導・キャリア教育の意義と目的 1・1 職業指導の歴史にみる意義と目的 1・1・1 職業指導の起源 1・1・2 職業指導の発達 1・2 日本における進路指導の発達 1・2・1 日本における職業指導
授業計画 【第14回】	1・2・2 進路指導の目的と活動領域
授業計画 【第15回】	1・3 キャリア教育の意義と目的 1・3・1 進路指導からキャリア教育へ 1・3・2 キャリア教育で育成する力
授業の到達目標	生徒指導・進路指導に対する正しい理解と認識を持たせ、社会を支える個人とは何かを考えさせる。さらに、組織的かつ体系的な指導を進めることができるような人材の育成を行う。
学位授与の方針 (DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外の学習 【予習】	1. 指定した教科書を事前に熟読し、次回の講義内容を把握する。 2. 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解する。
授業時間外の学習 【復習】	授業終了後に示す課題についてレポートを作成する。
課題に対する フィードバック	学生に課題を課し、その課題に対して発表を行わせる。絶対に覚えなければならない事は、確実に覚えているかを確認する。
評価方法・基準	課題に対して、しっかりと対応をしているかを評価。 - 30% 試験(基本事項の確認と指定テーマに関する論述問題)- 70%
テキスト	生徒指導提要(改訂版)(文部科学省)…全員に購入させる 高等学校学習指導要領解説総則編(文部科学省)…購入を勧める 高等学校キャリア教育の手引き(文部科学省)…プリント作成
参考書	入門生徒指導(学事出版)、新しい時代の生徒指導(有斐閣アルマ) 生涯学習時代の生徒指導・キャリア教育(教育出版)、教育原理(学芸図書) 学校教育を中心とした宮崎の教育創造プラン「宮崎ならではの教育」 読売新聞 学ぶ育む「教育ルネサンス」